

国立大学法人東京学芸大学損益計算書の概要

単位:百万円

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
経常費用計	12,185	12,322	13,021	13,785	12,941
業務費	11,838	11,964	12,594	13,331	12,480
物件費	1,882	2,031	2,383	2,567	2,425
教育経費	1,172	1,190	1,296	1,473	1,445
研究経費	419	450	554	607	600
診療経費	0	0	0	0	0
教育研究支援経費	213	270	305	237	231
受託研究費等	78	121	228	250	149
人件費	9,956	9,933	10,211	10,764	10,055
役員人件費	90	95	77	73	75
教員人件費	7,653	7,704	7,916	8,410	7,826
職員人件費	2,213	2,134	2,218	2,281	2,154
一般管理費	314	336	407	443	450
その他経常費用	33	22	20	11	11
経常収益計	12,640	12,538	13,127	14,001	13,238
運営費交付金収益	8,593	8,300	8,433	9,128	8,573
学生納付金収益	3,684	3,754	3,795	3,804	3,727
附属病院収益	0	0	0	0	0
受託研究等収益	77	122	232	251	150
寄附金等収益	174	173	229	253	254
その他経常収益	112	189	438	565	534

※ 参考 運営費交付金予算額の推移

単位:百万円

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
運営費交付金予算額	8,673	8,523	8,591	9,112	8,569

1 施設管理運營業務の委託状況

(1) キャンパス(団地)別の所在部局等、敷地面積、建物延面積

通番号	団地名	所在部局等	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)
1	小金井団地	大学(教育学部) 大学院 事務局 附属図書館 附属環境教育実践施設 教育実践研究支援センター 留学生センター 国際教育センター 情報処理センター 保険管理センター 放射性同位元素総合実験施設 有害廃棄物処理施設 国際交流会館 教職員施設 附属小金井中学校 附属小金井小学校 附属幼稚園	304,297	105,829
2	下馬団地	附属高等学校	53,209	12,193
3	深沢中団地	附属世田谷中学校	20,307	6,001
4	深沢小団地	附属世田谷小学校	28,393	7,346
5	大泉団地	附属高等学校大泉校舎 附属大泉小学校 大泉寮(男子学生寮) 国際教育センター 附属国際中等教育学校	64,252	21,845
6	竹早団地	附属竹早中学校 附属竹早小学校 附属幼稚園	18,728	13,551
7	小平団地	小平寮(女子学生寮)	4,233	2,995
8	東久留米団地	附属特別支援学校 国際交流会館	37,294	7,748

(2) 施設管理運営業務に関する外部委託の状況

① 契約の具体的内容

団地 通番号	ア 契約の業務内容	イ-1対象部局等 イ-2対象外部局等	ウ 契約期間	エ 入札等の 方法	オ 契約金額 (単位：円)
1. 2. 3. 4. . 5. 6. 7. 8	点検等及び保守、 執務環境測定、 上記の管理業務	イ-1 一括契約	3年	一般競争入札 (総合評価方式に よらない)	167,672,400
		イ-2 該当なし			
1	点検等及び保守	イ-1 大学(教育学部)	3年	随意契約	13,957,188
		イ-2 該当なし			
1	点検等及び保守	イ-1 大学(教育学部)	3年	随意契約	11,907,000
		イ-2 該当なし			
1	点検等及び保守	イ-1 教育実践研究支援センター	3年	随意契約	1,625,400
		イ-2 該当なし			
6	点検等及び保守	イ-1 附属竹早中学校	3年	随意契約	3,128,562
		イ-2 該当なし			
1	清掃	イ-1 一括契約	単年	一般競争入札 (総合評価方式に よらない)	11,340,000
		イ-2			
1	清掃	イ-1 一括契約	単年	一般競争入札 (総合評価方式に よらない)	6,971,664
		イ-2			
1	管理業務	イ-1 学生利用ホールのみ	単年	その他競争入札	1,999,595
		イ-2 学生利用ホール以外			
1~6.8	施設警備	イ-1 教育学部・附属学校ほか	単年	一般競争入札 (総合評価方式に よらない)	7,282,800
		イ-2 宿舎			
1~6.8	施設警備	イ-1 教育学部・附属学校ほか	単年	一般競争入札 (総合評価方式に よらない)	35,805,000
		イ-2 宿舎			
1. 5. 7. 8	清掃	イ-1 宿舎のみ	単年	一般競争入札 (総合評価方式に よらない)	4,378,500
		イ-2 宿舎以外			
1. 5. 7. 8	管理業務	イ-1 宿舎のみ	単年	一般競争入札 (総合評価方式に よらない)	6,678,000
		イ-2 宿舎以外			

② 契約の対象外の部局等の考え方や包括化等に関する考え方

ア 契約の対象外の部局等がある場合の理由

該当なし

イ 契約に際し業務を包括化した契約としていない場合の理由

- ・エレベータの保守契約については、メーカー毎に契約を行っている。現在、包括化の方向で契約方式などを検討中である。
- ・植栽については、年間数件のためスポット契約としている。
- ・法律（「官公需についての中小企業の受注の確保に関する法律」）により出来る限り分割発注を要請されているため、包括的にアウトソーシングするのではなく、中小企業の受注を確保するためそれぞれの業務毎に行うようにした。

ウ 契約期間を複数年としていない場合の理由

- ・清掃、警備等業務においては、契約不履行業者対応の観点から、現在はリスクを分散するため単年度契約により調達を行っているが、包括化の方向で現在検討中である。また、基準額以下の場合でも、随意契約締結に際し、経費節減の観点から複数業者から見積書を徴収して、安価な業者と契約している。

エ 随意契約としている場合の理由

- ・エレベータの保守契約については、メーカー毎に契約を行っている。
- ・業務効率のため少額（会計規程により、基準額500万円以下）については、随意契約による調達を行っている。

(3) 施設管理運営業務に関し外部委託していない業務について

業務番号	委託していない理由
該当なし	

2 図書館業務の委託状況

(1) 本館、分館等の名称等

本館、分館等の名	所在キャンパス	蔵書数	年間利用者数	業務従事者数
附属図書館	小金井キャンパス	885,784冊	440,359人	20人

(2) 図書館運営業務に関する外部委託の状況

① 契約の具体的内容

ア 契約の業務内容	イ-1対象となる館 イ-2対象外の館	ウ 契約期間	エ 入札等の方法	オ 契約金額 (単位：円)
利用者対応業務、配架業務、貸出業務 (* 時間外開館業務)	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	3,251,997
	イ-2 該当無し			
製本業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	580,740
	イ-2 該当無し			
製本業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	525,230
	イ-2 該当無し			
製本業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	112,430
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	1,936,515
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	216,562
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	247,800
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	2,641,590
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	2,246,013
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	393,298
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	987,945
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	358,890
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	961,380
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	563,115
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	373,170
	イ-2 該当無し			
資料補修・劣化資料 対策業務	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	482,380
	イ-2 該当無し			
画像データ作成	イ-1 附属図書館	単年	随意契約	510,730
	イ-2 該当無し			

② 契約の対象外の館の考え方や包括化等に関する考え方

ア 契約の対象外の館がある場合の理由

該当なし

イ 契約に際し業務を包括化した契約としていない場合の理由

1 製本業務は、図書館配架分と教員からの依頼によるものが製本対象である。これらの雑誌は整理時期や単位等一律ではないため、種類や内容分類等毎に整理して製本している。製本量も比較的少数であり整理時期もかなりの間隔があるため、今年度は3回実施した。

2 資料（古書）修復劣化対策等の業務は、専門的な知識と特殊な技能等を要する極めて特異な作業であり、毎年恒常的に実施しているものではない。今回、対象分を一括して発注しようとしたところ、業者の方から「量的（大量）に一括して処理することが難しい、処理技能や対策方法等により得意不得意があるので、修復方法や劣化対策の用途毎に区分した方が合理的かつ効率的である」との助言を得たため、本学の古書や文化財修復を研究されている教員からの助言も得て、用途や区分等を勘案して個別に発注したものである。

ウ 契約期間を複数年としていない場合の理由

複数年契約をするほどの業務量が年度毎に発生しない。

エ 随意契約としている場合の理由

会計規程（基準額500万円以下）の定める範囲内の額であり、一般競争・指名競争に至らない金額である。また、基準額以下の場合でも、随意契約締結に際し、経費節減の観点から複数業者から見積書を徴収して、安価な業者と契約している。

(3) 図書館運営業務に関し外部委託していない業務について

業務番号	委託していない理由
	<p>本学では、業務運営の合理化・効率化、人件費の削減を図るため、原則として、常勤職員の異動や退職に伴う後任を不補充とし、その分を外部委託又は非常勤へ業務転換している。図書館についても同様の対応をとってきており、図書館業務においては費用対効果及び業務変更へ柔軟な対応等の観点から、非常勤職員へ業務転換している。なお、時間外（平日17時以降や土・日、祝日）の開館業務を外部委託している理由は、例えば、夏休み等長期休業期間中の安定的な人員確保が難しくなってきたことが主な要因である。</p>